中学生の英語学習におけるプロセスフィードバックとフィードバック認知，学業達成の関連

衛　　彦　辰

グローバル化の影響を受けて，英語は国際的共通語として最も中心的な役割を果たしており，コミュニケーションのツールとなっている。また，高校や大学進学を目指す中学生にとって英語学習の重要性は高い。英語学習の教育現場において,学習者は教師との社会的相互作用を伴い,常に自分のパフォーマンスに関するフィードバックを受けている。フィードバックがパフォーマンスに与える影響は多次元的で,複雑であることも指摘されている。プロセスフィードバックが学習者のパフォーマンス，動機づけ信念，興味などにポジティブな影響を与えることが多くの研究によって検証され,その役割が重視されている。しかし，プロセスフィードバックに関する先行研究では理系や体育を対象にしたものが多く，英語の研究は行われていない。そこで本研究では，プロセスと結果フィードバックが内発的動機づけ，自己効力感，学業成績への効果について,フィードバック認知の媒介に着目し検証した。

中国の４つの公立中学校の生徒(中学一年生から三年生まで)計1915名を対象に，英語の中間テストに関するフィードバックを尋ね，フィードバック認知と学業達成についてオンライン調査を実施した。その結果，まずプロセスと結果フィードバックのいずれも内発的動機づけ，自己効力感および学業成績にポジティブな影響を与えることを示した。続いて，結果フィードバックはプロセスフィードバックに比べて,内発的動機づけと自己効力感により大きな影響を与えた一方，プロセスフィードバックは結果フィードバックに比べて，学業成績により大きな影響を与えたことが示された。また,フィードバックがフィードバック認知を媒介し，内発的動機づけと自己効力感に影響を与え,学業成績にも影響を及ぼすことが示された。さらに，成績上位と下位群に分けて，それぞれのモデルを検証した。その結果，まず成績下位群では，プロセスと結果フィードバックから自己効力感への影響は，知覚された有用性の媒介効果が見られなかった。また，プロセスと結果フィードバックから内発的動機づけへの影響は，フィードバック認知の媒介効果が見られたが,学業成績への影響が見られなかった。次に，成績上位群では，プロセスフィードバックから内発的動機づけへの影響は，知覚された関係性支持の媒介効果が見られなかった。結果フィードバックから自己効力感への効果は，知覚された有能感支持の媒介効果が見られなかった。また，結果フィードバックから自己効力感への影響は，知覚された関係性支持の媒介効果が見られなかった。